

令和7年度

鶴岡市民俗芸能

20th anniversary
鶴岡市市制施行20周年



交流発表会

丸岡桐箱踊り



加茂泊町大黒舞



温海嶽熊野神社
獅子舞



大山いざや巻



日枝神社獅子舞



山戸能
(県指定無形民俗文化財)



解説

菊地和博氏
(東北文教大学名誉教授)

令和8年

2月14日(土)

開場 12:30
開演 13:00

荘銀タクト鶴岡大ホール
(鶴岡市馬場町11-61)

入場
無料
申込不要

■主催■
■共催■
■問合せ■

鶴岡市教育委員会
荘銀タクト鶴岡
鶴岡市教育委員会
社会教育課
0235-57-4868
(平日9:00-17:00)

出演民俗芸能紹介 (出演順)

①丸岡桐箱踊り

地 域：櫛引

保存団体：丸岡桐箱踊り等保存会

概要：鉦と太鼓の拍子に合わせて田植え唄を唄い、輪になって踊ります。起源はよく分かっていませんが、熊本藩2代藩主の加藤忠廣が丸岡に配流された折、慰めるために踊ったと伝えられています。



②加茂泊町大黒舞

地 域：鶴岡

保存団体：加茂泊町大黒舞保存会

概要：かつて北前船の寄港地として栄えた加茂地区に伝わる大黒舞です。小槌と扇子を持った大黒様と竿を持った恵比寿様が舞います。昭和20年代までは、毎年1月11日の船霊祝に各船主の家々を回っていました。



③温海嶽熊野神社獅子舞

地 域：温海

保存団体：温海嶽熊野神社獅子舞保存会

概要：温海嶽修験道(神仏習合)の関わりがあり、明暦3年(1657)に獅子頭が奉納され、寛文3年(1663)から氏子廻りが始まったと伝えられています。太鼓の調子に合わせ、躍動的に舞います。



④大山いざや巻

地 域：鶴岡

保存団体：大山いざや巻保存会・キッズ華の会

概要：拍子木と唄上げに合わせて踊り手たちが台詞を交えながら踊るもので、天文元年(1532)、尾浦(現在の大山地区)を統治していた武藤氏の時代に教え広められたのが始まりといわれています。



⑤日枝神社獅子舞

地 域：鶴岡

保存団体：日枝神社獅子舞社中

概要：天正年中(1573~93)に疫病や犯罪が流行し、大宝寺村の宮侍の先祖某が供養と悪事退散の為、町中を巡回して疫病を祓い除いたことに由来します。5月2日の春祭りは神に草餅を供え、親戚・知人に配ったことから草餅祭りとも呼ばれています。



⑥山戸能 (県指定無形民俗文化財)

地 域：温海

保存団体：山五十川古典芸能保存会

概要：発祥ははっきりとしませんが、文献では貞観8年(866)頃に「謡」、「切り能」、「恋慕の舞」などが、寛永年間(1624~43)には天龍上人から「金丹囃子(座揃囃子)」、「道行囃子」を教え伝わったとあります。



出演民俗芸能の位置



解説者紹介

菊地和博氏 (東北文教大学名誉教授)

〈プロフィール〉

文学博士／日本民俗学・民俗芸能論・地域伝承文化論、日本民俗学会会員、民俗芸能学会評議員

〔主な著書〕

『東北の民俗歴史論－儀礼・祭礼・芸能－』(清文堂、2025)
『若宮八幡神社太々神楽』(阿古耶書房、2023年) 他多数

〔社会活動等〕

伝承文化支援研究センター長、山形県文化財保護審議会副会長、山形県民俗芸能団体懇話会会長
他、県内複数市の文化財保護審議会委員を務める